

### 農畜産物の安全性確認調査

県では、県産農畜産物の放射性物質による汚染に対する不安を払拭するため、7月26日から県産主要農畜産物のサンプリング調査を行っています。これまでのところ、本市からサンプリングされた生乳、比内地鶏など、全ての品目で安全性が確認されています。

また、県が農業団体等が行う自主的な農畜産物の放射性物質検査に係る経費への補助を8月1日から開始したことを受け、本市でも検査費用の一部補助を開始しました。

農林水産省では、米の収穫前後に放射性セシウム濃度の検査を実施することになっていますが、これに先立ち、市農業総合指導センターでは、7月29日に市内4カ所の水田土壌をサンプリングし、放射性物質検査を実施しました。その結果は、放射性ヨウ素、放射性セシウムとも「不検出」で、原発事故による影響がないことが確認されています。

### 農作物の育成状況など

7月の高温と少雨により河川の水量がかなり低下し、全体的に乾燥、水不足の圃場状況にありましたが、お盆明けの降雨でほぼ解消されました。

水稲は、7月中旬から8月末にかけて、カドミウム抑制のために湛水管理が必要な時期であり、一部集落等では



昨年の稲刈りの様子

ポンプアップなどで急場をしのぎました。また、平年に比べ葉いもち病の発生は少ない反面、カメムシの発生が多いことから、病害虫防除の徹底や気象変動に応じた湛水管理に注意を呼びかけています。出穂盛期は8月3日と平年より2日早く、穂揃い、登熟ともに概ね良好に推移していますが、草丈がやや長く、倒伏が懸念されます。

一方、本格実施となった「農業者戸別所得補償制度」は、個人1985件、法人8件、集落営農16件、合計2009件の加入申請があり、主食用米の作付面積は3163haとなり、昨年より107haの減になりました。

野菜の状況は、7月の干ばつ傾向により、生育の遅れが見られ、全体的に数量減、単価高の傾向です。主な品目では、枝豆は平年より2日早い7月22日から出荷が始まり、品質は良いものの収量が少なめで、価格は高めで推移しています。また、アスパラガスは、少雨の影響で品質の低下が見られ、収量も少なめとなっています。果樹は、ナシ、リンゴともに開花が

平年より1週間ほど遅れ、ナシは開花量、結実率も問題ありませんが、リンゴは開花量が少なく、収量減が見込まれます。

### 大町地区優良建築物等整備事業の完了

大町地区優良建築物等整備事業については、東日本大震災などの影響もあり工事が遅れていましたが、お盆明けに建物工事が完了し、その後の各種法定検査を滞りなく終えました。

完成した建物の名称は「TKマンション大町」とされ、2階以上の住宅30戸を市が借り上げて、9月1日から入居を開始しています。

本事業の完了に伴い、「街なか居住の推進による中心市街地の活性化」に向け、大きな一歩を踏み出すことができたものと考えています。



完成したTKマンション大町

### 大館市観光大使の任命

大館市観光基本計画に基づき、7月1日付けで、本市初となる「大館市観光大使」を任命しました。

就任いただいたのは、根田哲雄氏（白神フーズ社長）、中村政人氏（東京芸術大学准教授）、麓幸子氏（女性誌編集長）及び村松進氏（秋田犬保存会東京支部長）の4氏で、本市のPR活動を展開していただくほかに、定期的に開催する懇談会で様々なご提案をいただき、市の観光施策に反映させたいと考えています。

### そのほかの報告

- ・ 8月17日の大雨による被害状況
- ・ 東日本大震災への対応状況
- ・ 光バンドバンド整備事業
- ・ 平成22年度の市税等の収納状況と未収債権対策
- ・ 大館市環境マネジメントシステムの登録維持
- ・ 地域経済・雇用対策
- ・ 企業誘致の状況
- ・ 夏季イベントの開催
- ・ 御成町南地区土地区画整理事業に伴う仮換地指定
- ・ ゼロダテ／大館展2011の開催
- ・ 平成23年度成人式
- ・ 平成23年度全国高等学校総合体育大会（女子ソフトテニス競技）
- ・ 公共工事の進捗状況